

くにとみちょう 議会だより

No.207

令和7年11月1日発行



森永小学校



本庄小学校

躍動！くにとみ

八代小学校



木脇小学校



【9月定例会】

- ☆令和7年度 報告・補正予算・条例改正・財産の取得など … 2ページ～
- ☆令和6年度歳入歳出決算の認定 …… 4ページ
- ☆決算審査委員会報告(総務厚生・文教産業) …… 5ページ～
- ☆監査委員決算審査意見書提出 …… 9ページ
- ☆宮崎西警察署(仮称)移転予定地の議員現地視察 …… 10ページ
- ☆9人の議員が一般質問(※1議会当たりの過去最高人数) … 11ページ～
- ☆議会に寄せられた意見の紹介 …… 20ページ

令和7年第3回定例会では、令和6年度各会計決算の認定等7件のほか、報告1件、令和7年度補正予算4件、条例制定等7件、同意2件、諮問1件の案件を慎重に審議し、すべて原案のとおり認定、可決等しました。



令和7年第3回定例会 議案等の審議結果

議案番号等	件 名	結 果	
報 告 第 2 号	令和6年度国富町健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	—
認 定 第 1 号	令和6年度国富町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認 定 第 2 号	令和6年度国富町綾川雑用水管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認 定 第 3 号	令和6年度国富町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認 定 第 4 号	令和6年度国富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認 定 第 5 号	令和6年度国富町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認 定 第 6 号	令和6年度国富町水道事業会計剰余金の処分及び令和6年度国富町水道事業会計決算の認定について	可決 認定	全員
認 定 第 7 号	令和6年度国富町下水道事業会計剰余金の処分及び令和6年度国富町下水道事業会計決算の認定について	可決 認定	全員
議 案 第 2 9 号	令和7年度国富町一般会計補正予算(第2号)について	可決	全員
議 案 第 3 0 号	令和7年度国富町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	全員
議 案 第 3 1 号	令和7年度国富町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	全員
議 案 第 3 2 号	令和7年度国富町水道事業会計補正予算(第1号)について	可決	全員
議 案 第 3 3 号	国富町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議 案 第 3 4 号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議 案 第 3 5 号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議 案 第 3 6 号	国富町税条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議 案 第 3 7 号	国富町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議 案 第 3 8 号	財産の取得(令和7年度小学校タブレットパソコン購入)について	可決	全員
議 案 第 3 9 号	財産の取得(令和7年度中学校タブレットパソコン購入)について	可決	全員
同 意 第 5 号	公平委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて	同意	全員
同 意 第 6 号	教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて	同意	全員
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	適任と 答申	全員

詳細は4ページ9ページを参照

一般会計補正予算可決 (3億694万8千円)

(主な内容)

○県支出金(民生費補助金)

- ・介護事業者等が認知症対応型の施設整備を行う場合の経費助成金 3,880万2千円

○物価高騰対策

- ・水道基本料金の免除(令和7年11月～12月請求分) 2,103万8千円

○公共施設等適正管理推進事業

- ・舗装補修工事4路線(永田八幡線、嵐田線、向高須志田線、竹田永田線)

○町単独事業

- ・ほけだけ交流センター駐車場整備 590万円
- ・側溝改修工事6路線(鶴ヶ城線、伊左生吹上線、今平中山線、竹田永田線、八代馬場1号線、下六野西光寺線)

○農地・農業用施設災害復旧工事

- ・深年(割田地区)農地復旧工事、八代南俣(松ヶ迫地区)水路復旧工事

主な議案

〔補正予算〕

◇令和7年度国富町一般会計補正予算(第2号)について

〔補正額〕

3億694万8千円

〔予算規模〕

107億3364万2千円

審議の経過(質疑応答)

【竹田貫紀議員】財産管理費の不動産鑑定評価手数料について、不動産鑑定を行う物件及び面積について伺う。

【境田財政課長】今回は2件の案件となっている。一つ目は、町所有でJＡが管理している農業用の5つの施設を売却検討するため、二つ目は、森永小学校用地内の一部借り上げ地において、地権者からの要望を受けた5筆分の土地5575㎡の鑑定評価を行うもので

ある。

◇財産の取得(令和7年度小学校タブレットパソコン購入)について

〔主な内容〕

・購入台数 989台

・購入金額

6964万7358円

・契約の相手方

NTT西日本(株)宮崎支店

◇財産の取得(令和7年度中学校タブレットパソコン購入)について

〔主な内容〕

・購入台数 477台

・購入金額

3254万1894円

・契約の相手方

NTT西日本(株)宮崎支店

審議の経過(質疑応答)

【近藤智子議員】これまで使用していたタブレット端末の処分方法を伺う。

【三好教育総務課長】処分方法は未定で、他の市町村

を参考にしたい。再利用できる端末があれば有効活用したい。

同意

◇公平委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて

公平委員に

徳原忠利氏を選任

◇教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて

教育委員に

野元春二氏を任命

諮問

◇人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

人権擁護委員候補の
近藤恵氏を適任と答申

令和6年度 決算審査終了

議会が

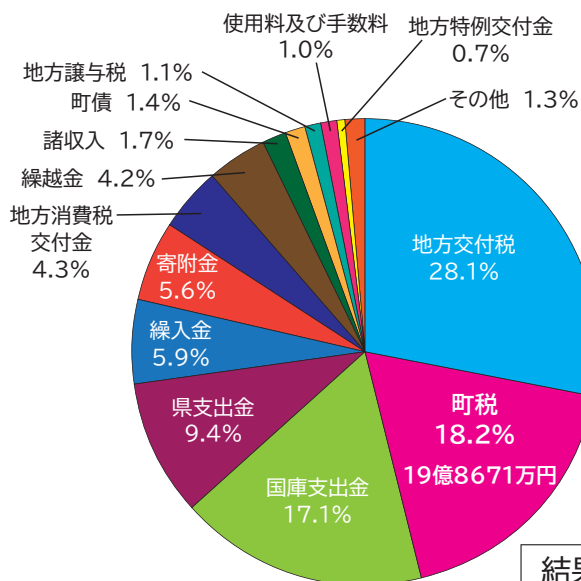


の使い方を審査

皆さんが納めた税金はどのように使われたのかを審査しました。令和6年度決算は、9月11日から9月17日までの4日間で各課の説明・聴き取り・現地審査を行い、一般会計決算及び特別会計決算5件の認定、公営企業会計の議案2件が可決及び認定されました。使い道につきましては、委員長報告等をもとに紹介します。

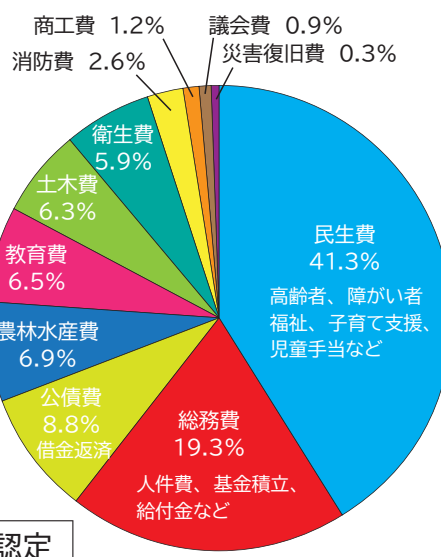
一般会計 歳入額(入ってきたお金)

総額 108億9,636万8,660円



一般会計 歳出額(使ったお金)

総額 104億6,518万8,724円



結果：賛成全員で認定

その他特別会計決算

会計名	歳入総額	歳出総額	結果
綾川雑用水管理事業特別会計	736万9995円	677万8192円	賛成全員で認定
国民健康保険事業特別会計	25億7441万2719円	25億3894万9644円	
後期高齢者医療特別会計	3億1068万386円	3億950万933円	
介護保険特別会計	25億3295万9276円	25億164万8435円	

水道事業会計決算 (賛成全員で認定)

収益的収入	4億2130万円
収益的支出	3億6137万円
純利益	5993万円
資本的収入	1億1415万円
資本的支出	3億1735万円
資本的収支不足額	2億319万円

下水道事業会計決算 (賛成全員で認定)

収益的収入	3億8764万円
収益的支出	3億7026万円
純利益	1737万円
資本的収入	7257万円
資本的支出	1億8406万円
資本的収支不足額	1億1148万円

※水道事業会計及び下水道事業会計の資本的収支不足額は、損益勘定留保金等で補填されています。

用語の説明

収益的収入	主に水道料金や下水道使用料	資本的収入	主に建設改良費のための借入
収益的支出	施設の維持管理費	資本的支出	建設改良費、借入れに対する償還

決算審査委員会（令和6年度分）

第3回定例会で行われた各常任委員会の審査内容（抜粋）を8ページまで掲載しています。審査内容（詳細）は、国富町HPの令和7年第3回会議録（各常任委員会委員長報告）をご覧ください。

総務厚生常任委員会

中 村 繁 樹 委員長



「AIさくらさん」
皆さんの利用を

総務課

Q 総合案内のAIさくらさんの稼働状況と来庁者の反応については。

A 認知度が不足しており、



現地調査：総合案内のAIさくらさん

直接、町民生活課に尋ねられる方も多いため、利用されるよう工夫していく。

LINEでの
施設予約が可能

総合戦略課

Q 施設予約機能開発等委託では、どのような開発を行ったのか。



A デジタルの活用による住民サービス改革の一環として町の公式LINEアカウントの拡張改修を行い、町内10カ所の体育館と4箇所の運動公園及び法華嶽公園の各種施設（ドッグラン、テニスコート、キャンプ場）について、空き状況の確認や予約が可能になった。また、町民が希望する情報カテゴリのみを受信する事ができるセグメント配信機能も装備し、利用しやすくなっている。

町営住宅等は、令和6年度途中から指定管理者に委託

財政課

Q 町営住宅等の管理運営に係る業務委託については。

A 一般社団法人宮崎県宅地建物取引業協会へ委託を行っており、入退去時の手続きや修繕等含めた業務を任せている。

コンビニ交付サービスでの納税証明書等の交付件数は28件

税務課

Q 各種証明書のコンビニ交付手数料については。

A 令和6年12月より各種証明書のコンビニ交付サービスが始まり税務課関係の納税証明書等の交付が28件あった。コンビニ交付では、

朝6時30分から夜の23時まで交付できるので利便性も良くなった。

令和6年度のウィッグ申請件数は、4件

保健介護課

Q 医療用補正具購入助成事業費補助金については。

A 抗がん剤治療による脱毛を補う為のウィッグ購入費や乳房切除等に伴う補整下着購入費用を町単独で助成するもので、補助額は、ウィッグが上限2万円、補整下着は上限1万円、令和6年度は4件のウィッグの申請があった。

病児保育の利用時負担は、実質無料

福祉課

Q 病児・病後児保育事業費補助金については。

A 太田原にじ色こども園が行っている事業で、病氣から回復時期にある小学3年生までの児童が対象になる。

利用料の設定はあるが、病児保育利用促進事業費補助金により保護者の利用料補助を行っているので実質

無料で利用できる。

地球温暖化対策
待ったなし

町民生活課

Q 地球温暖化対策実行計画策定業務委託料について



現地調査：ほけだけ交流センター

は。

A 再生可能エネルギーの導入目標や施策の方向性を定めるとともに、住民・事業者・町などの各主体が連携して取組む実行計画を策定した。2027年に国富町地球温暖化対策委員会を開催し進捗状況の報告をする。

振込手数料、半年で92万6000円

会計課

Q 為替振込手数料については。

A 銀行間の為替取引における銀行間手数料は、内国為替制度運営費に移行され、全ての振込みに手数料が課金されるとの事で、半年分で92万6000円、1年分の振込手数料となると大きな負担増になる。

文教産業常任委員会

日 高 英 敏 委員長



新規の農業経営に
積極的な支援

農林振興課

Q 「農業次世代人材投資資金」と「新規就農者育成総合対策事業費補助金」の実績については。

A 「農業次世代人材投資資金」は、新規就農者の初期の農業経営を支援する制度で、令和6年度は3組の施設きゅうり栽培農家に、それぞれ180万円を交付している。また、「新規就農者育成総合対策事業費補助金」については、経営発展支援事業と経営開始資金があり、令和6年度の実績は、機械や施設等の導入支援である経営発展支援事業においては交付者1名が中古ハウスを導入し、補助額326万4000円、経営開始資金においては交付者2名で補助額はそれぞれ150万円を交付している。

三名排水機場調整
池の除草業務に
170万5000円

農地整備課

Q 三名排水機場の管理委託料が他の排水機場に比べ約150万円高い理由については。



現地調査：施設園芸ハウス再利用支援事業

A 三名排水機場については、170万5000円で調整池の除草業務委託を実施しているからである。

木造住宅診断事業が8戸、改修事業が4戸

都市建設課

Q 木造住宅耐震診断事業委託料110万4000円と木造住宅耐震改修事業費補助金400万円については。

A 令和6年度については、診断事業が8戸、改修事業が4戸となっており、令和6年元日に発生した能登半島地震の影響から、例年の倍以上の実績になったと思われるとのこと。また、町内の木造戸建住宅において、耐震改修が必要な戸数としては、令和2年度末で約1500戸となっており、町の広報や県によるテレビCMにおいて制度の周知を行っ

ている。

安全な水道水を提供

上下水道課

【水道事業会計】

Q PFOS・PFOAについては。

A PFOS・PFOAは、もともと自然由来のフッ素とは違い、人工的に合成された有機フッ素化合物で、自然環境中では分解されにくく、高い蓄積性があるが、令和6年7月に高尾ポンプ場、平原公民館、狩野公民館、向高公民館で採取検査し、いずれも5ng/L未満（基準50ng）という結果を得ている。

【下水道事業会計】

Q 下水道事業会計における経費回収率が88%で、100%に満たない理由については。

A 下水道事業は当初の計

画から事業規模を縮小しており、下水道区域が限定されているため、使用料収益が増加することは考えにくく、今後は、水道料金改定のタイミングで、下水道使用料の値上げも検討する。

教師用教科書指導書等は町負担

教育総務課

Q 教師用教科書指導書が2275万8483円と高額な理由については。

A 令和6年度は、4年に1度の小学校の教科書が変わる年で、児童の教科書は国費負担のため無償であるが、教師用指導書やデジタル教科書等は町負担で購入しなければならない。また教科によつては、複数必要な場合もあり、教職員数に応じて必要冊数が増えるため、購入金額も高額になっている。

アリーナくにとみのトレーニングマシンを更新

社会教育課

Q アリーナくにとみトレーニング室用備品購入費475万2000円については。

A アリーナ完成時から利用していたトレーニングマシンが故障したことによる導入で、日本スポーツ振興センターの助成金34万9000円を活用しているとのこと。6年度のトレーニングルーム利用者数は、



米は値上がりしたが、給食費は据え置き

延べ3754人である。

学校給食共同調理場

Q 米の価格変動時の対応については。

A 6年度中には米の値上がりが続いたが、年度途中に給食費を上げると現場が混乱するため、増額分は購入元の公益財団法人宮崎県学校給食会が負担した。

また、令和5年度までは宮崎県産の1等米だけを使用していたが、6年度は、年度途中で米が高騰したため、3等米を中心に購入し、宮崎県産と他県産の米をブレンドして提供した。

令和6年度決算審査意見書提出

「厳しい行政運営のなか、町民福祉の増進が図られた」

（一般会計・特別会計）

一般会計及び特別会計の総計決算額は、前年度に比べ、歳入で1.2%、歳出では2.8%増加している。その結果、実質収支額は482,866,108円となっており、各会計とも効率的な財政運営に努力されていることを認めた。

今後も、人口減少対策や各種産業の振興対策、福祉・健康・教育対策などさまざまな行財政の課題に対して、制度の見直しをはじめとするより効率的・効果的な財政運営に留意し、財源の確保と経費の節減・合理化に努め、国富町の発展と町民福祉の増進に取り組んでいただきたい。



意見書を提出する山口代表監査委員（中央左）と受け取る日高町長（中央右）。
山内議選監査委員（左）、横山副町長（右）。

（水道事業会計）

経営成績は、10年連続で黒字決算となり、59,933,163円の純利益を計上している。有収率は、70.2%で依然として低い水準にとどまっている。現在も漏水多発地区の配水管等布設替がなされているが、大幅な改善はみられていない。そうした状況のなか、令和6年度には衛星画像を用いたAI解析による漏水調査とその結果を踏まえた漏水修理が実施されており、先進技術に取り組む積極的な姿勢が伺える。AI解析技術は漏水箇所の対応だけに限らず、管路更新の優先順位付けや更新箇所の決定など、今後の更新計画の最適化も見据えることが可能と思われるので、さらに有収率の早期改善に向けて取り組んでいただきたい。

（下水道事業会計）

令和5年度から地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行して2年度目の決算を迎えた。17,376,226円の純利益を計上しており、経常収支比率104.7%は理想比率（100%以上）を超えているが、料金水準の妥当性を示す経費回収率は、88.0%で污水处理費用を下水道使用料で賄えていない状況である。下水道事業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続くものと考えられるが、なお一層の経営の効率化を図り、「国富町下水道事業経営戦略」に基づき、経営基盤の強化に努めていただきたい。

監査委員 山口 孝
監査委員 山内 千秋

令和6年度 国富町健全化判断比率等の状況

健全化判断比率	町の数値	早期健全化基準	資金不足比率	町の数値	経営健全化基準
実質赤字比率	実質赤字額なし	14.66%	水道事業会計	資金不足なし	20.0%
連結実質赤字比率	連結実施赤字額なし	19.66%	下水道事業会計	資金不足なし	20.0%
実質公債費比率	11.4%	25.0%			
将来負担比率	40.0%	350.0%			

令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率は、いずれの指標も基準を下回っているため、健全である。

「町の考えを問う」

「一般質問」とは…
議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問して確かめること。【議員1人あたりの持ち時間は45分。】

〔一般質問〕9議員が登壇（次ページ）

事業進捗 レポート 2

宮崎西警察署 (仮称)

9月定例会で、石山和真議員の一般質問(15頁参照)、中村繁樹議員の一般質問(19頁参照)に関連し、議会も現地を視察しました。

①

ゲートボール場付近



② 幼児プール付近



③

遊具、
駐車場付近

今後、議会でも、進捗情報が入り次第、速やかにお伝えしていきます。
また、住民説明会等にも積極的に参加していきます。



地域福祉の未来のための「重層的支援体制整備事業」の導入

町長 現時点で新たな導入は考えていない。

Q 議員 町の将来を見据えた地域資源活用による包括的支援体制の構築のため、国の任意事業「重層的支援体制整備事業」の導入は考えられないか。

A 町長 本町では制度化以前から関係課や社協などと連携して体制を整えてきた。国の示す支援体制は既に構築できていると考えており、現時点で新たな導入は考えていない。



Q 議員 人口減少と高齢化は避けられず、独居高齢者の増加は地域の支え合いに直結する課題である。『誰に相談すれば？』という声を耳にする。今後の人口や高齢化率、高齢世帯の実態と課題認識を伺う。

A 福祉課長 人口は2030年に1万6881人、高齢化率は41・3％に達する見込みであり、高齢単身世帯の増加が顕著になる。実際に高齢者のみの世帯は4113世帯（全体の45・4％）、このうち単身は2209世帯（24・4％）で増加傾向にある。こうした変化は地域コミュニティの在り方や支援体制に大きな影響を及ぼすと認識している。

議員 町の連携体制は評価するが、相談を待つ受け身ではなく先手を打つ仕組みこそ必要である。『重層的支援体制整備事業』の意義を再確認し、将来を見据えた導入を引き続き検討するよう要望した。

Q 議員 生活困窮、8050（はちまるごまる）問題、ヤングケアラーは複合的で一つの窓口だけでは解決できない。町内での相談事例や対応を伺う。

A 福祉課長 生活困窮相談から派生したひきこもりなどの事例があり、関係機関と連携して対応している。公共料金の分納相談につなげたケースや訪問による支援も行っている。

本町の健康づくりの取組について

町長 全世代を対象に健康づくりを推進している。

Q 議員 本町での健康づくり事業の現状を伺う。

A 町長 健診やがん検診、栄養・保健指導、シニア元気アップ教室やサロンなど、全世代を対象に健康づくり事業を進めている。

Q 議員 健康づくりの目的は健康寿命を延ばすことにある。その成果をどう測り、どのように把握しているのか伺う。

A 保健介護課長 シニア元気アップ運動教室では、握力や歩行力などを指標とし、成果を比較している。今後は宮崎大学と連携してデータに基づく体力づくりを進める。

Q 議員 健康意識を高める



運動公園のウォーキングの様子

には、楽しみながら参加できる機会が欠かせない。近隣市町でも体力測定やウォーキング大会で意識向上が図られている。本町でも実施できないか。

A 社会教育課長 町内のスポーツ団体と情報共有したいが、現時点では国民スポーツ大会の成功に向けて注力していきたい。

議員 健康は待つてはくれない。町民が楽しみながら取り組める仕組みを将来的にぜひ検討いただきたいと提案した。

こおり かずあき
郡 一 議員が問う

地域福祉の未来づくり・健康づくりの推進について



委員の意見を聞き、議会の同意を得る必要がある。今後、中別府前町長の意向を確認し、過去の手続きを参考に、手続きを進めていきたい。

中別府前町長の名譽町民への推挙の考えについて

町長 意向を確認後、手続きを進めたい。

Q 議員 中別府前町長は、未来に希望もてる町づくりを実践し、国富町発展のため多くの功績を残された。名譽町民推挙についての考え方を伺う。

A 町長 中別府前町長のご功績は、国富町の歴史に永遠に残すべきものとして、多くの町民に評価をいただいているものと確信している。名譽町民を決定するに当たっては、名譽町民推薦委員会を設置し、

Q 議員 これまでの名譽町民は、どのような功績によって選定されてきたのか。また、その選考基準や役職、在職等の基準はあるのかを伺う。

A 総務課長 本町では7名の方が名譽町民となっている。

これまでの功績は、明るいまちづくりの基礎を築かれた方、町民福祉向上に貢献された方、農業の基盤整備を進め葉たばこや千切り大根を全国トップレベルに押し上げられた方など、町の発展に尽くされた方となっている。

また、選定基準については、国富町名譽町民条例の第1条で、称号を贈る条件として、本町住民又は本町に縁故の深い者で、公共の福祉の増進、産業・文化の進展、又は社会

的公益上に偉大な貢献をなし、その功績が顕著であつて、町民が深く尊敬に値すると認める者と規定されている。役職等の在職任期、期間等は明記されていない。

Q 議員 今後検討されるということがある、どのような手続やプロセスが必要となるのかを伺う。

A 総務課長 まずは、国富町名譽町民条例施行規則第7条の規定により、名譽町民推薦委員会を設置し

て、委員会に意見を聞くというのがスタートになる。

次に、推薦することになった場合は、議会に議案として上程することになる。

Q 議員 仮に名譽町民となれば、どのような礼遇となるのか。また、

予算計上の時期はいつになるかを伺う。

A 総務課長 条例によると第1に、町の公の式典への参列。第2に、年20万円の国富町名譽町民年金の支給。第3に、死亡の際における相当の礼をもつてする弔慰等がある。予算計上の時期については、まず、名譽町民推薦委員会を開くための予算を令和8年度の当初予算に計上することになると考えている。



女性消防団の発足



交流プラザくにとみ屋の整備

議員 数々の実績から勘案して、中別府尚文前町長は、名譽町民に十分値すると考えているので、推挙については、ぜひとも前向きにご検討いただきたい。

デマンド型乗合タクシーよつば号の現状と課題について

町長 持続性の確保、運転手不足・利用回数への対応が課題

Q 議員 デマンド型乗合タクシーよつば号の現状と今後の課題について伺う。

A 町長 令和4年10月より本格運行を開始し、運行体制は70歳以上を対象に事前登録制で月曜日から土曜日までの7時から18時まで、1時間ごとの定期運行とし、原則前日までの電話予約が必要となっている。運賃は1人乗車400円、2人以上の乗車が200



0円で町内35か所の指定乗降場と自宅を結ぶ公共交通手段として運用を行っている。

今後の課題としては運行経費の一部を公費で支えているため、事業の持続性において利用拡大と採算のバランス確保が上げられる。また、運転手不足や利用回数の対応も課題となっている。

Q 議員 よつば号の対象者は70歳以上の高齢者や障がいを持つ方、学生に限定されていると認識しているが、デマンド型乗合タクシーの利用対象及び登録者数について伺う。

A 総合戦略課長 全体の登録者数は、令和7年7月末現在563人である。

内訳は、70歳代が158人、80歳代が286人、90歳以上が73人の計517人が登録しており、70歳以上が登録者総数の9割を占めている状況である。

令和7年7月末の70歳代以上の人口5519人に対し、

対象人数に対する登録率は9.4%であった。

その他、特段の理由があり登録したい方は町に相談いただきたい。

Q 議員 サービス開始から登録者、利用者は順調に増加していると認識している。

西部地区では、認識が薄いように感じているが今後、利用者を増やすための具体的な取組について伺う。

A 総合戦略課長 よつば号の利用促進や周知については、地区などから要望があれば地区の公民館や体育館で事業の説明会を実施している。

説明会には福祉課も同行し活き行きバスカード事業も併せて説明を行っている。

よつば号については、その場で登録申請もできるように対応している。

Q 議員 将来的には町内各乗降場間を自由に移動できるサービスが求められる可能性

がある。乗降場から乗降場への移動を可能にする、国富ふれあい号（仮称）の導入について、現時点での検討状況と課題について伺う。

A 総合戦略課長 利用者には指定乗降場と指定乗降場の移動を必要とする方がいることは認識している。宮崎綾間のバス路線における、よつば号との接続においても路線バスを運行する宮崎交通との協議を踏まえて、乗降場35か所の設定を宮崎交通に許可をいただいている。

本町のよつば号を委託するタクシース会社以外の民間タクシー会社など、民間業者への配慮も必要となる。

よつば号は、道路運送法に規定する国富町地域公共交通会議の中で、交通事業者や住民代表、関係機関との議論と承認を経て、九州運輸局の許可を受けてスタートした公共交通サービスである。

このようなことから、指定乗降場間の移動につきまして

は、地域公共交通の観点からも移動手段としての導入は難しい。

よつば号の制度趣旨を丁寧に説明しながら、通常タクシーとは棲み分けがあり、利用者やその家族にもよつば号と通常タクシーの違いを理解していただく周知広報を行っていく。



竹田 貴紀 議員が問う

町民の重要な足である「デマンド型乗合タクシー」よつば号

一般質問 町民の声を届ける

Q 議員 国の地方創生予算が倍増されている。本町における効果的な活用実績を伺う。

A 町長 令和6年度はデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、①各種証明書などのコンビニ交付サービス、②LINEを活用した施設等の予約システム、③AI総合案内、④衛星画像を活用した水道管漏水調査支援システムに取り組んできた。今後も、持続可能なデジタル社会の実現

町長 地域課題の解決を目指し、効果的な活用を進めて行きたい。

地方創生予算の倍増、どう活用するか。



ひだか ひでとし
英敏 議員が問う

地方創生予算、プレミアム付商品券、観光振興、水泳授業

に向けた、交付金の活用に努めたい。

議員 「町民ファースト」の行政サービスを推進するよう要望した。

プレミアム付商品券事業の検証と成果は

町長 消費の喚起と地域経済の循環促進に寄与出来ている。

Q 議員 プレミアム付商品券のメリットを生かし、継続的な地域活性化を図れ。

A 町長 プレミアム付商品券事業は、物価高騰における家計の実質負担軽減と、地域内消費の喚起に一定の成果を上げている。

引き続き効果的な家計支援と地域経済対策に努める。

議員 町内飲食店利用の推奨とPRも要望した。

史跡・古墳を活かし観光振興を図れないか。

町長 地域住民による地域資源の再発見を促し活性化を推進する。

Q 議員 史跡・古墳等を活かし観光振興を図り、交流人口を促進せよ。

A 町長 フィールドミュージアムとして交流人口を増やすには、町民自らが、地域の魅力を認識し発信していく事が求められる。現時点では、地域住民による地域資源の再発見を促し、地道な地域活性化を推進する。

議員 高校生や大学生の想像力を活かし「史跡ガイドの会」の組織強化を図るよう要望した。

水泳授業の現状と今後の課題は

教育長 プール使用の頻度と維持管理経費との費用対効果が課題

Q 議員 本町における小中学校の水泳授業の現状と今後の課題は。

A 教育長 安全管理が強く求められており、毎朝、塩素濃度とPH値を測定。授業中は、複数の職員で指導する体制がとられている。

課題としては、プールの老朽化に伴い、毎年どこかの学校プールで修繕等が発生しているほか、水道料、薬剤の購入費など、プールの使用頻度に比べ維持管理に掛かる費用が大きく、費用対効果が課題である。

議員 運動公園内の幼児プールの移転と併せて、すべての町民が利用できる屋内プールの検討を要望した。



イベント「古墳のまちを歩いてSNSで魅力を発信しよう」

宮崎西警察署(仮称) 移転計画の今後について

町長 今後、住民説明会を開催し、全体構想の概要を説明する予定

Q 議員 7月22日の近隣住民(稲荷・十日町東地区)説明会であがった声の対応と、今後の説明会など情報開示についての方法を伺う。

A 町長 特に多かった声は、具体的な計画を町がまだ示せていないことへの強い不満や不安であり、その点についてしっかりと受け止め、対応策について関係課で協議をしているところである。公園は、面積は減るが現在の

運動公園内に残す計画で、遊び場の確保として本庄小学校のグラウンドの開放を検討している。

プールについては長期的に検討しながら、当面は法華嶽公園のじゃぶんこ広場を利用していただくことを考えている。

なお、駐車場やトイレなどを含む整備計画は、今後住民説明会を開催し、全体構想の概要を説明する予定である。

Q 議員 移転後のメリットを伺う。

A 総務課長 犯罪の抑止や交通安全意識の高揚、また事件・事故の対応の迅速化、そして災害に対応できる設備が身近に存在することでの安全、安心な地域拠点の創出だと考えている。

また、高岡地区交通安全協会も移転を計画している。

実現すれば運転免許の更新が町内でできることになる。経済効果に関しては、新たな土木・建築工事の発生や、

事務用品、各種資材、上下水道料金の収入、施設管理業務の需要があると見込んでいる。

Q 議員 高岡地区安全協会の利用状況は。

A 総務課長 6年度は合計2217名で町内の利用者は726名だった。

Q 議員 次回の説明会は。

A 総務課長 10月後半から11月を予定している。規模については、全区を対象にして区の回覧、ホームページ、LINE等を活用して周知を行っていく。



グラウンドより西側の風景
移転計画により伐採予定の木々

フィールドミュージアム構想について

町長 地域資源の魅力発信への取組を進める。

Q 議員 フィールドミュージアム構想の主旨と現在の活動状況、今後の取組について伺う。

A 町長 町全体を一つの大きな屋根のない博物館と見立て、自然、歴史、文化、産業など、地域に点在する多様な資源を結びつけ保存活用し、町民の学びや交流の場、また来訪者へ魅力を発信していくものである。

現在の活動は、くにとみ史跡・文化ガイドの会の活動のほか、古墳のまちを歩いてSNSで魅力を発信するイベント、ウォーク&ドライブラリーのイベントなどを実施している。

フィールドミュージアム構想は地域に住む人が地域の魅力に気づき、誇りを持ち自ら

発信していくことが必要で、今後も町民参加の理解を得ながら、地域の魅力発信への取組を進めたい。

Q 議員 まちおこしにつながるような大きなイベントを企画してほしいとの声がある。その中で各ボランティア団体を活かすような取組はできないか。

A 総合戦略課長 まちおこしの企画については、地域の活性化に大変有効である。しかし、行政が主体となつて実施するよりも、日頃から地域で活動されている各ボランティア団体が、主体的に企画・運営を進めることが、より魅力的で持続可能なイベントにつながるかと考えている。

行政としては、あくまで裏方として、活動を支える立場に徹し、必要に応じて情報提供や調整、広報等でお手伝いすることで、地域の皆様とともに盛り上げていきたい。



いしやま かずま
石山 和真 議員が問う

宮崎西警察署(仮称)移転計画、フィールドミュージアム構想

A 町長 持続可能な社会を築くためには、男女が多様な場において共に責任を分かち合い、活躍できる環境が不可欠と考える。

Q 議員 人口減少が進むことから、性別にとらわれず、誰もがその力を発揮できる社会の実現が不可欠である。そのため、男女が共に活躍できる男女共同参画社会の推進が重要であり、特に行政が果たす役割は大きいと考えるが、本町の取組と町長の考えを伺う。

町長 「誰もが活躍できる国富町の実現」を目指していきたい。

本町の男女共同参画の取組について



「くにとみブリッジ」の活動
国際女性デーにちなんだイベント
ホワイトリボンランin法華嶽 (R7.3.1)

議員 町長も「女性の声を街づくり」に活かす」を示されている。町内には多くの優れた女性人材がいる。その力を活かさないのは損失と考える。行政とひとり一人の町民が力を合わせ今以上に住みやすい町を作るよう要望した。

欠と考える。本町では、「くにとみブリッジ」と連携して啓発活動に取り組み、町行政も率先して男女共同参画の視点を施策に反映させ誰もが活躍できる国富町の実現を目指していきたい。

井戸川 紀代子 議員が問う

男女共同参画、放課後児童クラブ、メディアリテラシー

放課後児童クラブについて

町長 保護者や関係機関の意見を参考に取組んでいきたい。

A 町長 児童館は児童の健全育成と保護者の就労や家庭事業に応じた保育機能を提供する役割がある。今後も放課後児童クラブの役割や重要性を認識しつつ児童の安全の確保や健全育成に努めたい。

Q 議員 中央児童館は本庄小学校から遠く、特に低学年は安全面に不安があるため利用したくてもできないという声がある。本来ならば、利用を希望するすべての子どもが等しく利用できる事が保証されるべきではないか。安心して子育てができる町は、町の活性化にもつながると考える。放課後児童クラブの利用実績や各学校への児童クラブの設置について伺う。



令和6年度 中央/木脇/森永児童館 子どもセンター利用者数	
児童クラブ登録者数	151人
児童館合計(延べ)	28,751人
児童館合計月平均	2,396人
児童館合計1日平均	98人

A 福祉課長 各学校への児童クラブ設置については教室に余裕がない、職員の確保が難しい事等の課題があり、町としては現状の形で対応していきたい。

メディアリテラシー(情報を読み解く力)教育について

教育長 今後とも継続した取組を進める。

Q 議員 新聞やテレビ、インターネットやSNSからは、多くの情報が溢れている。その中には、不確かなものもある。幼児期からスマホ等に触れる時代だからこそ、子供のころから情報を読み解く力をつける必要性があるが、本町の小・中学校における取組について伺う。

A 教育長 これからの情報社会を生きていくひとり一人が確かなメディアリテラシーを身に着けるため、令和4年度に文部科学省の情報モラル教育推進事業を受託し授業の研究に取り組んだ。また、ゲーム機やスマホの使い過ぎについて、児童生徒が自分事として考え、解決策を導き出す授業を行なっている。



農家の暑熱対策への町独自の助成について

町長 今後の検討課題として研究したい。

Q 議員 近年の異常な高温における農家の暑熱対策として町独自の助成はできないか伺う。

A 町長 国、県において、換気装置や遮光資材、冷却機器の導入など補助事業が実施されている。本町独自の助成については、生産者のニーズや他市町村の取り組み、財政状況を踏まえ検討課題として研究していきたい。



今年も暑かった！大型扇風機での暑熱対策

令和8年4月からの「こども誰でも通園制度」について

町長 周知を図って環境を整えたい。

Q 議員 令和8年4月から「こども誰でも通園制度」がスタートする。具体的な内容を伺う。

A 町長 保護者の就労の有無に関係なく、保育所等を利用できる制度である。対象者は、生後6か月から3歳未満

で、1か月10時間以内が目安となっている。

不妊治療の自己負担額の助成はできないか。

町長 前向きに検討していきたい。

Q 議員 令和4年から保険適用されている不妊治療だが、自己負担額の助成はできないか。

A 町長 保険適用になったとはいえ不妊治療の医療費は高額である。安心して子どもを産み育てる環境づくりを図



るため、自己負担額の助成については前向きに検討していきたい。

夏休みの小中学校生対象の「補習授業」について

町長 実施の可否について検討したい。

Q 議員 平成28年から令和元年までの夏休みの間、小中学生を対象に無料の「補習授業」を開催していた。好評だったと思うが開催の予定はないか。

A 町長 今年度、八代中学校で大学生を講師として、中学1、2年生を対象に補習授業を行っている。大学生等を募って小中学生の補習教室を実施するのも一つの方法と考える。大学にも相談して、実施の可否について検討してみたい。

利用者向けリーフレット

こども誰でも通園制度

こども誰でも通園制度とは？

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成長環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため創設された新たな通園制度です。

対象者

- ・保育所等に通っていない
- 0歳6ヶ月～満3歳未満が対象

利用方法

- ・月10時間の枠内で
- 時間単位で柔軟に利用可能

※利用時間は、市町村により異なる場合があります。詳細についてはお住まいの市区町村にお問い合わせください。

近藤 智子 議員が問う

農業暑熱対策・こども誰でも通園制度・不妊治療助成・夏休み補習授業

Q 議員 住民が頻繁に利用し、児童生徒の通学路にもなる速度標識等の無い狭い生活道路が、来年9月から法定速度30kmとなる。住民の交通安全のため、どのような周知の活動や対策を行うか伺う。

A 町長 生活道路で危険な通学路については、これまで対策を行ってきた。中央線などの無い町内の生活道路の多くは、改正法が適用される。地域住民と情報を共有し、警察署とも連携し徹底した啓

町長 令和8年9月生活道路法定速度30km制度適用の周知を徹底する。

生活道路の交通安全対策はどうする。



谷口 たにぐち まさる
勝 議員が問う

生活道路の交通安全対策・学校運営協議会の活動状況

発活動を行う。

Q 議員 太田原地区の道路も速度標識等なく狭いが、法定速度30kmの法改正に該当するのか。

A 総務課長 高岡警察署に確認したところ、太田原の保育園から新川石油に抜ける道路も、幅員5・5m未満で中央線もないため、法改正の対象になると考えられるとのことであった。

Q 議員 運転者に法改正を認識してもらうため、警察署でも周知活動は行っただろうが、町としては新たに法定速度30kmとなる生活道路の周知はどう行うか。

A 総務課長 高岡警察署によると、現時点ではどの道路が法改正の対象となるかは不明である。

国を挙げて周知の予定で、警察署の周知に伴い、町も行う予定である。
既に運転免許更新の際に、

法改正の周知は始めている。

Q 議員 危険度の高い生活道路については、地区から要望があれば地区内速度30kmを示す看板の設置はできないか。

A 総務課長 独自に速度を抑制する看板を設置することは可能だが、高岡警察署によると、速度規制の標識が必要なら地域事情のある場合は検討することのこと。

Q 議員 周知徹底のため警察署に、取り締まりなどの協力依頼はできないのか。

A 総務課長 高岡警察署では、地域の理解と取り締まりの場所の提供があれば可能だとの回答である。

議員 町内でも太田原地区と同様の問題を抱える生活道路を利用する地区も多くある。

町民を交通事故から守るため、法改正の実効性を高める周知の徹底が求められる。



通学路にもなる太田原区内の道路
安全対策を

学校運営協議会の活動状況は。

教育長 下校時に合わせ見守り活動を実施した。

Q 議員 地域の協力のもと、昨年実施された木脇中学校区学校運営協議会の下校時見守り活動の状況はどの様であったか。

A 教育長 木脇中学校区学校運営協議会は設置後4年目を迎え、昨年は安心安全をキーワードとした取組を行った。下校時に合わせ地域の方々や

保護者の協力のもと見守り活動を実施した。

Q 議員 下校時見守り活動の参加人数と本年度も継続するのか伺う。

A 教育総務課長 24名の見守りボランティアや保護者の参加があった。

現段階では、具体的な取組は決まっていないが、さらなる展開に期待している。

Q 議員 この活動の時期や期間の変更はあるか。

A 教育総務課長 今後開催される学校運営協議会の会議の中で議論される。

議員 下校時見守り活動は、学校運営協議会の目指す（地域と共にある学校）の実現の一步である。

地域の協力があれば、他の地域防犯や防災にもつながる。

今後の学校運営協議会の活動を応援したい。



宮崎西警察署(仮称) 移転に伴うプール等の移設計画時期について

町長 公園遊具は面積減でも運動公園に。プールはじゃぶんこ広場の利用を。

以下「西警察署」と書く。

Q 議員 西警察署の移転計画では令和11年3月完成予定であるが、本町の運動公園の代替え案等は一向に示されていない。近隣住民や公園利用者には不安の声もあるが移設計画案の提出時期を伺う。

A 町長 県警の基本構想にも記載されている建設予定は、

あくまでも県警側の目標という位置づけである。移転用地の公園やプール、駐車場は具体的な対応を示せていない。公園遊具については、面積は減るが現在の運動公園に残す予定であり、本庄小学校のグランドの開放を検討し、プールは法華嶽公園のじゃぶんこ広場を利用していただく。今後、住民説明会を開催し、全体の構想の概要を説明する予定である。

議員 西警察署移転によりパトロール等が強化され防犯率向上や安全面は向上し良いと思うが、なぜ運動公園西側なのか疑問である。

Q 議員 本町が移転候補地として県警に紹介した場所を伺う。

A 総務課長 ①川南体育館周辺②太田原集出荷場③太田原集出荷場裏④つかさ亭周辺⑤国富スマートインターチェンジ(以下「国富SIC」と書く。)周辺の5箇所である。

議員 なぜ、本町が紹介していない場所での交渉が始まったのか。国富SIC周辺での交渉を行えば事件・災害発生時に緊急配備でき、市内からも近く利便性も高く、西警察署移転と国富SIC周辺開発が一気に図られたのではないか。

Q 議員 運動公園は町民に親しみのある公園だが、移転交渉の中で移転場所の変更案は示さなかったのか。

A 総務課長 多くの町民から歓迎する声が聞かれ高岡警察署の移転を大きなチャンスと捉え移転場所変更案は示していない。

議員 多くの町民から歓迎の声が聞かれたとの事だが8月の議員だよりを見た町民からも西警察署の移転計画について不安のメールが届いており、二度の住民説明会でも出席された殆どの町民から移転に対する懸念事項ばかりであった。

Q 議員 県警より西警察移転計画の相談があった時点で町議会に諮らなかつた理由を伺う。

A 総務課長 県から情報管理徹底を強くお願いされ、県議会での公表に合わせた情報開示となった。

議員 移転問題には秘匿を要するとの考えも強かつたのかもしれないが、町議も守秘義務があるので口外しない。町議会に相談が無い事が残念である。

Q 議員 国富SIC周辺土地利用については議会や各種団体、地元住民等から多くの意見を聴取する検討会を発足しているのに対し、西警察署の様な大きな案件に対し、なぜ検討会を作らなかつたのかを伺う。

A 総務課長 多くの町民から歓迎する声が聞かれ高岡警察署の移転を大きなチャンスと捉え、検討会の必要性は無

いと判断であった。

議員 町民が歓迎すれば検討会は不必要なのか。そうであれば役場において電話、メール等で意見募集を行い、町民の賛同が得られれば国富SIC周辺土地利用検討会も必要ないという解釈と捉える。

Q 議員 移転に伴い本町への用地取得費として約2億9000万円が計上されているが物価高や人件費高騰により公園の移転費用が賄えるのかを伺う。

A 総務課長 移転補償費については県警で算定中であり10月に提示される予定で、現時点では確定していない。



無くなる遊具と木々

なかむら
中村 繁樹 議員が問う

「宮崎西警察署(仮称)の移転計画」について

8月号の議会だよりに寄せられた意見

- 1 廃校の活用等については、売却も1つの案ですが、全国には様々な廃校活用の良い事例がたくさんあります。プロジェクトチームを立ち上げて慎重に検討してほしい。
- 2 本庄高校生とのコラボによる空き店舗を活用しての物品販売等の展開はできないものかなと思っています。
- 3 他市町に比べて町内の飲食店が遥かに乏しいという実情です。町、商工会、事業者を含めて対策を考えてほしい。
- 4 宮崎西警察署(仮称)の移転に関し、あまりにも子供の遊び場を軽視しているように思えます。幼児プールに関しては、多少入場料を徴収してでも新たに作るべきだと思います。
- 5 両親共働きで、子どもが小学校に上がってから預ける場所に苦慮しています。本庄小学校内に児童館があれば安全安心にもつながると思われれます。預ける時間もできれば19時まで延長してほしい。

議会だより意見箱



より良い議会だより、まちづくりのために皆さんの意見をお聞かせください。

意見は、グーグルフォームで受け付けます。右のコードを読み取り、入力してください。



次の定例会は

12月12日開会予定です！

お気軽に**傍聴に来てください。**

問い合わせ先：議会事務局 75-3111(内線 282)

議会の動き

令和7年9月19日から
令和7年12月12日まで

9月19日	○秋の交通安全運動決起大会
	○広報特別委員会
10月9日	○県町村議会議長会臨時総会 ○県町村議会議長会議員研修会
15日	○郡監査委員協議会研修会 ○全国町村監査委員表彰式及び研修会(東京都)～17日
21日	○総務厚生常任委員会政務研修(埼玉県他)～23日
28日	○せんざり大根生産者大会
30日	○森林・林業・林産業活性化議員連盟九州大会(宮崎市)
31日	○国富町合同金婚式
11月2日	○ふれあいスポーツ(車いす野球)大会
5日	○県町村議会幹部議員研修会
7日	○殉国者慰霊祭
12日	○全国町村議長全国大会(東京都)～13日
15日	○在京国富会総会・懇親会(東京都)
19日	○文教産業常任委員会政務研修(栃木県他)～21日
22日	○法華嶽公園少年少女剣道大会
27日	○大淀川下流域成同盟会要望活動
30日	○芸能のつどい
12月10日	○議会運営委員会
12日	○第4回定例会

今回の議会傍聴者延べ人数



編集後記

今議会も、多くの方が傍聴にお越しくださいましたことを心より感謝申し上げます。

議会に一人でも多くの方が関心を寄せてくださることは、私たち議員の励みとなり、議場に程よい緊張感も生まれると感じています。

一般質問では、町民の皆さまから寄せられた身近な困りごとや将来を見据えた課題が取り上げられ、傍聴された皆さまの声とも、重なる場面もありました。私たち議員の大切な役割は、町民の皆さまの思いを議会で形にしていくことです。これからも、皆さまのひとつ一つの声を大切に受けとめ、誰もが安心して暮らせる町づくりを進めてまいります。
(紀代子)

— 広報特別委員会 —

委員長：日高英敏
副委員長：竹田貫紀
委員：井戸川紀代子
委員：郡一寛
委員：石山和真
委員：中村繁樹